

6. 学生支援

6.1 学生概況

学部・学科の在籍学生数

平成30年5月1日現在

学 部	学 科	第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			合 計		
		男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	合計
理工学部	1年生(教養)	256	34	290	-	-	-	-	-	-	-	-	-	256	34	290
総合光科学部		1	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	1
理工学部	応用化学生物学科	-	-	-	39	14	53	47	13	60	35	8	43	121	35	156
	電子光工学科	-	-	-	64	4	68	50	0	50	35	0	35	149	4	153
	情報システム工学科	-	-	-	85	10	95	66	8	74	-	-	-	151	18	169
	グローバルシステムデザイン学科	-	-	-	2	0	2	0	0	0	54	9	63	56	9	65
総合光科学部	バイオ・マテリアル学科	-	-	-	0	0	0	0	0	0	2	1	3	2	1	3
	光システム学科	-	-	-	1	0	1	0	0	0	2	2	4	3	2	5
	グローバルシステムデザイン学科	-	-	-	0	0	0	0	0	0	10	1	11	10	1	11
合 計		257	34	291	191	28	219	163	21	184	138	21	159	749	104	853

※1年次修了時に学科配属を行います。

大学院研究科の在籍学生数

平成30年5月1日現在

研究科	専 攻	課 程	第1学年			第2学年			第3学年			合 計		
			男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	合計
光科学研究科	光科学専攻	博士前期課程	8	2	10	10	1	11	-	-	-	18	3	21
		博士後期課程	0	0	0	3	0	3	2	0	2	5	0	5

6.2 奨学金

平成30年度各奨学金採用状況は次のとおりです。

・日本学生支援機構奨学金

学 種	貸与種別	予 約	在 学	追 加	緊急 応急	臨 時	平成30年 度採用計
学 部	第一種	37	23	0	0	0	60
	第二種	65	19	0	0	0	84
大学院	第一種	4	0	0	0	0	4
	第二種	0	0	0	0	0	0

6. 学生支援

・千歳科学技術大学奨学金

学 種	採用人数
学 部	12

・大学院研究援助金

種 別	採用件数
国 内	8
国 外	4

・その他の奨学金

奨学金名	貸与・給付	学 種	採用人数
あしなが育英会	貸与	大学院	1
	貸与	学部	2
	貸与・給付	学部	2
慶応工学会奨学金	給付	大学院	1
札幌市奨学金	給付	学部	1
交通遺児育英奨学金	貸与	学部	1
山口正栄記念奨学財団奨学金	給付	学部	1
浜中町育英事業奨学金	給付	学部	1

6.3 学生相談

平成 30 年度の学生相談利用状況は次のとおりです。

担 当 者 臨床心理士 3 名、相談員（元特別支援学校校長）1 名

相談回数 97 回（春学期：週 2 回 秋学期：週 3 回）

※平成 30 年度より学休期は、利用者数が少ないことから週 1 回としている。

相談件数 206 件（実人数 39 人） 1 回平均 2.1 人

◆利用者数（件）

	1 年	2 年	3 年	4 年	院 生	その他	合計	(実人数)
平成 30 年度	38	56	36	71	5	0	206	(39)
平成 29 年度	48	54	77	96	0	22	297	(37)

※その他には、卒業生、教員、保護者等が含まれます。

◆月別利用者数（件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
件 数	16	15	14	20	0	10	31	34	27	14	17	8	206

男女各 1 名の臨床心理士と元特別支援学校校長経験を有する相談員を加え、3 名で心理性格面、対人関係、進路修学、学生生活等の様々な相談内容に対応している。

6.4 健康相談

平成 30 年度の健康相談利用状況は次のとおりです。

担当者 学校医

相談回数 28 回（休業期間を除き原則月に 2～3 回実施、1 回 2 時間）

相談件数 23 件（実人数 23 人） 1 回平均 0.8 人

◆利用者数（件）

	1 年	2 年	3 年	4 年	院生	不明	合計
平成 30 年度	6	7	4	6	0	0	23
平成 29 年度	5	10	6	5	0	0	26

◆月別利用者数（件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	5	8	4	2	夏期 休業	0	3	1	0	0	0	春期 休業	23

健康相談では、学校医による相談の機会を設け、健康上の悩みを持つ学生のカウンセリングを含めた指導を行っています。

6.5 困りごと相談（障がい学生支援等含）

平成 30 年度の困りごと相談利用状況は次のとおりです。

担当者 相談員（春学期：臨床心理士 秋学期：元特別支援学校校長）

相談回数 47 回（週 1 回、1 回 5 時間）

相談件数 93 件（実人数 22 人） 1 回平均 2.0 人

◆利用者数（件）

	1 年	2 年	3 年	4 年	院生	その他	合計
平成 30 年度	9	9	49	25	1	0	93
平成 29 年度	0	3	22	64	0	10	99

その他には、TA、教員、保護者等が含まれます。

◆月別利用者数（件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	9	3	11	9	5	6	6	7	11	9	8	9	93

障害のある学生の相談窓口として、また、学習面を含む「大学生生活の困りごと」を具体的にサポートすることを目的として平成 27 年度より開設しました。

継続支援が必要なケースが多いため、夏期休業、春期休業期間も開設し、必要に応じ家族

6. 学生支援

や教員など関係者を含めた相談なども実施している。

6.6 クラスアドバイザー

平成 19 年度より、1～3 学年についてクラスアドバイザー制度を導入し、出席状況調査等に基づいて、必要な学生には状況の確認や相談に応じるなどの支援を行っています。特に、1 学年については、1 名の教員が 10 名程度の学生を担当し、4 月の 1 学年交流会への参加、各学期中の個別面談を行うほか、グループでのレクリエーションを実施するなど交流機会を設け、友達づくりの支援にも努めています。平成 23 年度からは、アドバイザーと学生および学生同士のつながりをより強くすることを目的として、1 学年必修科目の一つを利用したグループ学習を行っています。

6.7 1 学年交流会

平成 30 年 4 月 4 日（水）午後 1 時 15 分～午後 4 時 30 分、『1 学年交流会』を開催しました。開催内容は次のとおりです。

- ①オリエンテーション
- ②グループワーク（工作とコンテスト）
- ③クラブ・サークル紹介

この事業は、1 学年を対象として、友達づくりに主眼を置いて実施しています。入学して早い時期に新しい友達をつくることによって、孤立した学生、引きこもりがちな学生の減少、さらには休学者、退学者の減少につなげることがねらいで、平成 22 年度からは入学後のオリエンテーションの初日に行っています。

また、クラスアドバイザーはこの機会に学生との連絡手段を確認し、今後のサポートにつなげています。

6.8 学生団体の活動

本学の学生団体は、平成 31 年 3 月 31 日現在、学生会（学生会執行委員会、稜輝祭実行委員会、卒業記念事業委員会）のほか「部」12 団体と「サークル」25 団体があり、延べ 400 名以上の学生が活動を行いました。学生会および「部」に対しては、課外活動の活発化を目的として、総額 324 万円の学生活動補助金を交付しました。また、学生活動補助金以外にも、「部」が学外の施設を利用して課外活動をする場合、使用料金の一部を補助しています。学生団体一覧（カッコ内は顧問教員）

学生会：学生会執行委員会、稜輝祭実行委員会、卒業記念事業委員会

部

（体育系）：バスケットボール部（山中）、硬式テニス部（山林）、弓道部
（Karthaus）、フットサル部（田口）、YOSAKOI ソーラン部（小田

(久)、軟式野球部(谷尾)、卓球部(坂井)、バドミントン部(吉田)、ストリートダンス部(梅村)

(文化系) : 軽音楽部(大越)、写真部(石田)、ライトアート工房(青木)

サークル : 都山流尺八サークル(村井)、理工工房(長谷川)、テーブルゲームサークル、にこにこだんすサークル、CCC (CIST Cycling Circle) (Karthaus)、サバイバルゲームサークル(福田)、アーチェリーサークル、菜園サークル(福田)、数検サークル(福田)、麻雀サークル、天文学サークル(梅村)、航空研究会(小林)、動画制作サークル、LTサークル、ソフトダーツサークル、陸上競技サークル、FMac(曾我)、ポケモンサークル、ハンドボールサークル、サッカーサークル、昆虫研究会(平井)、将棋サークル、バレーボールサークル、女子バスケットボールサークル、アナウンス・朗読研究会

主な活動実績(大会入賞など)

○稜輝祭実行委員会

- ・稜輝祭開催

○硬式テニス部

- ・千歳春季大会 男子B【優勝】

○弓道部

- ・千歳弓道協会7月度月例射会【参段以下の部3位】
- ・第64回全道学生弓道争覇戦 男子I【IV部リーグ戦優勝】
- ・第64回全道学生弓道争覇戦 III・IV部入替戦【2位】(III部昇格)

○YOSAKOI ソーラン部

- ・第21回みちのくYOSAKOIまつり【第4位優秀賞】

○軟式野球部

- ・2018年度第25回春季リーグ戦大会【III部リーグ戦1位】(II部昇格)
- ・2018年度新人戦大会 一回戦敗退
- ・2018年度第25回秋季リーグ戦大会【II部リーグ6位】(III部降格)

○卓球部

- ・北海道秋季学生卓球選手権大会男子3部リーグ戦【ブロック4位】

○バドミントン部

- ・第60回北海道学生バドミントン春季リーグ戦大会出場
- ・第67回北海道学生バドミントン選手権大会出場男子4部リーグ【3位】
- ・千歳オープンバドミントン大会

○ストリートダンス部

- ・JorkerParty【優勝】

○フットサル部

- ・“コンサドーレ・エスポラーダカップ”全道市町村サッカー・フットサル大会

6. 学生支援

一般部の A ブロック 【2 位】

○写真部

- ・”PHOTO IS “想いをつなぐ。50000 人の写真展 2018 応募
- ・”PHOTO IS “想いをつなぐ。50000 人の写真展 2018
鉄道のある風景部門 心に響いた 20 選 1 名入選
- ・稜輝祭にて写真展示及び開催風景撮影
- ・第 13 回 花と緑の写真コンテスト
スナップ部門 銀賞、銅賞受賞者 各 1 名
一般部門 佳作 8 名受賞
- ・第 16 回札幌圏学生合同写真展主催

○ライトアート工房

- ・苫小牧市美術博物館での作品展示
- ・千歳市まちライブラリー@千歳タウンプラザでのワークショップ
- ・ノースカントリー（千歳市）での作品展示

○軽音楽部

- ・大学交流ライブ参加

○都山流尺八サークル

- ・千歳邦楽邦舞の会出演

○理科工房

- ・あそびの日 in 千歳 2018 参加
- ・ちとせ子ども科学キャンパス 参加
- ・ニッポンハムファイターズ科学実験教室 参加
- ・科学の祭典 参加【千歳大会、北広島大会】
- ・認定子ども園科学実験体験 実施
- ・SORA こそだてフェスティバル 2018 参加
- ・千歳市ふるさとポケット 参加
- ・千歳市サイエンス会議 参加

○菜園サークル

- ・第 31 回花いっぱいコンクール【優秀賞】

○昆虫研究会

- ・ハチの駆除実施
- ・オープンサイエンスパーク 参加

○航空研究会

- ・ペーパークラフト教室実施（稜輝祭にて）

6.9 学生チャレンジプログラム

学生が主体的に行う活動を資金面で支援するために、「学生チャレンジプログラム」の募集を行っています。

支援対象活動は、学生全体を対象とした新たな学内イベントの創出や、社会・地域貢献活動、部昇格など学生団体の継続的な活性化を目的とした取り組みなどに対して、計画書を提出してもらい、その内容を審査の上補助を行う「学生生活貢献部門」と、社会的ニーズを踏まえた（貢献した）コンテンツ及びシステム開発を行った学生チームや個人に対して、その成果を審査した上で奨励する「情報メディア貢献部門」の2部門を支援対象としています。支援額は、学生生活貢献部門1件40万円以内、情報メディア貢献部門1件10万円以内としています。なお、平成30年度に採択されたプログラムは、情報メディア貢献部門に応募した曾我研究室の学生を中心に取り組みを行った「食堂支援システムの開発」1件でした。

6.10 大学祭の開催

第20回稜輝祭は、稜輝祭実行委員会の主催により、平成30年10月21日（日）に本学キャンパスで開催されました。当初9月の開催予定でしたが直前に起きた北海道胆振東部地震の影響により開催が危ぶまれました。学生からの大学祭を開催したいという要望により1ヶ月延期をしての開催になりました。

今回は、地元千歳に暮らす方、来場された方、稜輝祭へのご支援をいただき私たちを支えてくださっているすべての皆様に笑顔で恩返しをしたいとの思いから『笑門来福』をテーマで開催しました。

各部・サークルや研究室による模擬店、YOSAKOIソーラン部による演舞をはじめ、学生団体によるイベント、縁日、移動動物園やインスタントカメラを使い皆さんの笑顔を撮影する撮影会があり、ご家族で楽しめる姿が多く見られました。

さらに、「アジアン」「ものいい」によるお笑いライブや抽選会を実施し、当選者が出るたびに会場から歓声が上がっていました。

6.11 交通安全指導

平成30年4月26日（木）北海道札幌方面千歳警察署の警察官に、交通事故防止と交通安全意識およびマナーの向上を目的に講話を行っていただきました。本学では講話を聞き、車両通学の申請がなされ許可を得た学生にのみ車両通学を許可しています。

6.12 父母懇談会の開催

平成30年10月13日（土）午前10時～午後4時、本学を会場として第13回父母懇談会を開催し約90名の参加がありました。開催内容は次のとおりです。

- ① 全体説明会（学長挨拶・大学院進学及び就職について）
- ② 学部教育について、研究成果について
- ③ 学習・生活個別相談（担当教職員が個別に学習・生活などに関する相談に応じる）

6. 学生支援

- ④ 就職セミナー（就職支援会社による講演、就職に関する個別相談、内定学生による就職活動体験報告会）

6.13 学生の受賞等

・佐々木記念賞

この賞は、本学の開学に尽力した初代学長 佐々木敬介教授（1936～1998）の偉業を称え、平成10年に創設されました。学業成績優秀な学部4年生および学術・研究に関し成績優秀または顕著な業績があった大学院生を表彰するものです。平成30年度は、学位記授与式において、賞状と副賞が授与されました。

<大学院>

（博士前期課程2年）栗津 千尋

（博士前期課程2年）徳光 聖茄

<学部>

（理工学部応用化学生物学科4年）大滝 晋平、前多 佑哉

（総合光科学部光システム学科4年）島津 志帆

（理工学部電子光工学科4年）奈良 圭将

（グローバルシステムデザイン学科4年）上田 真知香、成田 弥矢

・学生表彰

この賞は、在学期間中に正課外の活動において顕著な成果をおさめた個人または団体を表彰する制度です。具体的に対象となる活動は、部活動において全国大会での入賞、ボランティア活動などになります。今年度の受賞者は、本学が主催する国際学会（CIF）を円滑に運営するためのアプリケーションを開発し、国際学会の成功に寄与する取り組みを行いました。受賞者には「学生表彰状」のほか、副賞として記念品が贈られました。

<学生表彰>

高橋 勝輝（理工学部グローバルシステムデザイン学科）